

# 平成30年度 上五島高等学校 学校評価・職員アンケート 集計結果 (第2回)

評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	NO	ほとんど達成できていない%	どちらかという達成できていない%	おおむね達成している%	十分達成できている%	3と4の全体における割合%	今年度	昨年度 12月	増減	評価 できない 分からない	
					1	2	3	4						達成度
<b>1 学校経営 全職員が共通の理念に立った学校経営を行うことによる教育成果の評価</b>														
					1の割合	2の割合	3の割合	4の割合	4・3の合計割合	平均			0の数	
1	(1)教育方針	教育方針の具現化	「進取」の理念の共通理解に基づいた目標設定がなされている	校務分掌や学年の経営方針に教育方針が反映され、実践されている	1	0.0%	5.1%	64.1%	30.8%	94.9%	3.3	3.4	△ 0.1	0
2	(2)努力目標	明確化と実践	「確かな学力を軸に社会を生き抜く力を付ける教育」が学校内外に明確化している	努力目標が周知徹底しており、職員全体で実践されている	2	0.0%	12.8%	61.5%	25.6%	87.2%	3.1	3.3	△ 0.2	0
3	(3)学年経営	目標の具現化	学年目標による経営を行う	学年全体が目標達成に向けて努力している	3	0.0%	5.1%	64.1%	30.8%	94.9%	3.3	3.5	△ 0.2	0
4	(4)学級経営	目標の具現化	学級目標に沿った経営実践	学級目標により実践されている	4	0.0%	5.1%	64.1%	30.8%	94.9%	3.3	3.5	△ 0.2	0
5	(5)校務分掌	目標の具現化	分掌目標による経営実践	分掌全体が目標達成に向けて努力している	5	0.0%	23.1%	41.0%	35.9%	76.9%	3.1	3.5	△ 0.4	0
<b>2 教育活動 教育全般における計画的・組織的な教育成果の評価</b>														
6	(1)教育課程	適切な教育課程	学習指導要領の主旨を生かした特色ある教育課程	コースの特色と生徒の実態に応じた教育課程を編成し、習熟度などの授業形態を工夫している	6	0.0%	2.6%	64.1%	33.3%	97.4%	3.3	3.4	△ 0.1	0
7	(2)教科指導	「分かる授業」「できる授業」の展開と工夫・改善	指導方法の創意工夫を行う	教材研究や課題の精選、授業の工夫を行い、生徒の学習意欲を喚起し、達成感を実感できる授業を行う。	7	0.0%	5.1%	66.7%	28.2%	94.9%	3.2	3.4	△ 0.2	0
8			きめ細やかな授業や指導の実践	少人数学習や個人添削、特別指導などにより、個に応じたきめ細やかな指導を行う。	8	0.0%	7.7%	43.6%	48.7%	92.3%	3.4	3.5	△ 0.1	0
9			授業の改善	研究授業や評価、各テスト結果の分析などを利用して授業改善を図る。	9	0.0%	5.1%	61.5%	33.3%	94.9%	3.3	3.3	0.0	0
10			指導力の向上	研究授業や校外諸機関で行われる研修などを積極的に活用して、指導力の向上に努める。	10	0.0%	2.6%	59.0%	38.5%	97.4%	3.4	3.3	0.1	0
11		適切な学習評価	教職員の共通理解に基づく適切な評価を行う	教科会で評価基準を設けている。また評価には小テスト、態度、提出物などを加味している。	11	0.0%	5.1%	56.4%	38.5%	94.9%	3.3	3.2	0.1	0
12	(3)道徳教育	教育活動全体を通じた道徳教育	教育活動全体を通じた人としての生き方あり方指導	すべての教育活動に道徳の視点が生かされ、人としての生き方あり方指導が実践されている。	12	0.0%	20.5%	53.8%	25.6%	79.5%	3.1	3.2	△ 0.1	0
13	(4)総合的な学習の時間	狙いが明確で創意工夫した活動	指導要領を踏まえ、地域・学校の特徴を生かした活動	学年に応じて、適切なテーマを精選し、問題解決能力や考える力を育成するために、生徒の主体的な活動を引き出す工夫をする。	13	0.0%	7.7%	64.1%	28.2%	92.3%	3.2	3.3	△ 0.1	0
14	(5)特別活動	ホームルーム活動	年間計画に基づく指導	各教科・各分掌との連携を図りつつ、計画的な活動が行われている。	14	0.0%	7.7%	59.0%	33.3%	92.3%	3.3	3.4	△ 0.1	0
15		生徒会活動の充実	生徒の自主的・自発的活動および効果的な行事を行う	執行部を中心とした生徒の自主性を尊重した活発な活動が行われている。また、体育祭と橄欖祭の二大行事を始め各種行事に生徒が主体的かつ積極的に参加している。	15	0.0%	10.3%	56.4%	33.3%	89.7%	3.2	3.5	△ 0.3	0
16		環境教育	環境問題に関心を持ち、自発的に行動できる生徒の育成	地域清掃やボランティア活動を通して、身近な環境への関心を深める。	16	0.0%	20.5%	59.0%	20.5%	79.5%	3.0	3.4	△ 0.4	0
17	(6)生徒指導	基本的な生活習慣	生徒理解の基で全職員で行う	生徒心徹底と挨拶・容儀・掃除などの日常の指導を適切な生徒理解に基づき全教職員で行っている。	17	2.6%	17.9%	61.5%	17.9%	79.5%	2.9	3.3	△ 0.4	0
18	(7)進路指導	進路指導の充実	系統的・計画的進路指導	系統的・計画的な年間計画に基づき学年等と連携しつつ適切な進路指導を行う。	18	2.6%	5.1%	59.0%	33.3%	92.3%	3.2	3.4	△ 0.2	0
19			職業観・勤労観育成	職業研究やインターンシップなどを利用して職業観・勤労観を育成し、適切な就職を支援する。	19	0.0%	12.8%	53.8%	33.3%	87.2%	3.2	3.4	△ 0.2	0
20			学部学科研究に基づく適切な進路選択	補習や模試などによる学力強化と学部学科研究や出前講座などを通じて適切な進路選択を支援する。	20	0.0%	5.1%	51.3%	43.6%	94.9%	3.4	3.4	0.0	0
21	(8)健康・安全教育	態度の育成	健康・安全の指導	基礎体力作りや健康管理・感染症予防についての指導を実践している。	21	0.0%	7.7%	43.6%	48.7%	92.3%	3.4	3.5	△ 0.1	0
22				カウンセリングや相談室だより、悩み調査などにより、生徒のサポートを行う。	22	0.0%	2.6%	51.3%	46.2%	97.4%	3.4	3.5	△ 0.1	0

評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	NO	ほとんど達成できていない%	どちらかという達成できていない%	おおむね達成できている%	十分達成できている%	3と4の全体における割合%	今年度	昨年度12月	増減	評価できない 分らない	
					1	2	3	4						達成度
23	(9)人権・同和教育	人権尊重の態度の育成	周囲や相手のことを思いやって生活できる心を養う	人権・同和・平和について考える機会を生徒に提供し、生徒に積極的に取り組みをさせる。	23	0.0%	10.3%	51.3%	38.5%	89.7%	3.3	3.4	△ 0.1	0
24	(10)部活動	部活動の活性化	部活動を奨励し、活発な活動を行う	積極的に部活動に参加させ、部活動を活性化させる。	24	0.0%	7.7%	51.3%	41.0%	92.3%	3.3	3.5	△ 0.2	0
25				学習と部活動の両立を図る体制を作る。また、挨拶や身なりで生徒の模範となることをめざす。	25	2.6%	12.8%	56.4%	28.2%	84.6%	3.1	3.3	△ 0.2	0
26	(11)読書活動	読書活動の充実	読書指導を充実し、図書館利用を促進する。	「朝の読書の時間」を中心に読書指導を充実し、生徒の情操教育を図る。図書館利用を促進する。	26	0.0%	17.9%	61.5%	20.5%	82.1%	3.0	3.3	△ 0.3	0
<b>3 組織運営 学校の組織運営に係る教育成果の評価</b>														
27	(1)校務分掌	適切な役割分担	適切に仕事を処理する	職員の能力・適性を生かして円滑に校務処理を実施する。	27	0.0%	10.3%	61.5%	28.2%	89.7%	3.2	3.3	△ 0.1	0
28	(2)各種委員会	設置と運用	適切に委員会を運営する	委員会での検討結果を教育活動や学校経営に生かす。	28	0.0%	5.1%	71.8%	23.1%	94.9%	3.2	3.2	0.0	0
29	(3)校内研修	研修体制の確立	計画的・組織的に行う	適切な項目で研修を行っている。	29	0.0%	5.1%	61.5%	33.3%	94.9%	3.3	3.3	0.0	0
30	(4)校外研修	資質向上	校外の各種研究会・研修会を活用する	各種研修（教育センター・教育研究会・外部研修など）に積極的に参加している。	30	2.6%	5.1%	64.1%	28.2%	92.3%	3.2	3.2	0.0	0
<b>4 教育環境 学校の置かれている教育環境に係る教育成果の評価</b>														
31	(1)教育環境の整備	潤いのある生活環境の整備	日々の清掃が行き届き美化意識を高める	師弟同行の精神で全校生徒・全職員一体となって取り組んでいる。	31	2.6%	15.4%	56.4%	25.6%	82.1%	3.1	3.3	△ 0.2	0
32	(2)施設・設備の管理	活用と安全管理	施設設備の有効な活用が図り、管理を適切に行う	安全点検や補修を定期的に行っている。	32	2.6%	2.6%	46.2%	48.7%	94.9%	3.4	3.4	0.0	0
33	(3)情報インフラの設備充実	教育活動全般の情報化	IT機器を使った校務処理を推進する	校務処理のIT化を積極的に推進すると共に、ホームページの更新を行う。	33	0.0%	12.8%	41.0%	46.2%	87.2%	3.3	3.4	△ 0.1	0
<b>5 開かれた学校作り</b>														
34	(1)保護者との連携	協力体制の確立	生徒に関する情報を保護者と共有する	生徒の状況について、学校と保護者が適切に連絡・情報提供を行う。	34	0.0%	10.3%	51.3%	38.5%	89.7%	3.3	3.6	△ 0.3	0
35			P T A活動を活性化し、積極的活動を図る	教職員も積極的にP T A活動に参加し、保護者の関心を高めて、P T A活動を活発化する。	35	2.6%	17.9%	53.8%	25.6%	79.5%	3.0	3.4	△ 0.4	0
36	(2)地域や関係機関との連携	協力体制の確立	学校方針や教育活動について情報を提供する	積極的に学校情報を発信したり、職員が地域行事等に積極的に参加したりするなど、連携を推進している。	36	0.0%	15.4%	51.3%	33.3%	84.6%	3.2	3.6	△ 0.4	0
<b>6 生徒の教育（生徒の状況）</b>														
37	(1)豊かな人間性・社会性	思いやりの心と社会性の育成	相手の気持ちになって考え、社会のルールを遵守し、他と協力して行動できる。	社会のルールを遵守し、他と協力して行動できる。	37	0.0%	12.8%	61.5%	25.6%	87.2%	3.1	3.4	△ 0.3	0
38	(2)学力定着・向上	基礎・基本の定着	基礎・基本の定着と応用力の育成	自ら学習目標を設定し、予習復習を徹底して行い、授業・補習・土学などに積極的に取り組む。	38	5.1%	17.9%	59.0%	17.9%	76.9%	2.9	3.2	△ 0.3	0
39	(3)健康・体力	基本的生活習慣	自主的な健康管理	自らの健康を自主的に保持し、管理することができる。	39	0.0%	12.8%	64.1%	23.1%	87.2%	3.1	3.2	△ 0.1	0

「1」の評価をした項目について、その理由を書いてください

- ・17、25、31→生徒指導の事項の全てが甘い。挨拶も容儀も掃除も。教員の共通認識ができない（示されない、示されていても曖昧。聞いても明確な答えがない）
- ・3、8、18→大学進学クラスだけではなく他のクラスの基礎力を（しつけ）上げようとする取り組み、意識、仕組みがない。